

4 港湾連携 首都圏セミナー（実施概要）

日 時：平成 23 年 11 月 22 日(火)10:00～12:30

場 所：日本海事新聞社 3 階会議室（東京都港区新橋 5-19-2）

4 港湾参加者：函館市（萬谷、米田）、室蘭市（西舘）、苫小牧港（平田）、
釧路市（佐々木、石崎）

邦船社等：郵船クルーズ(株)、商船三井客船(株)、日本クルーズ客船(株)、
日本チャータークルーズ(株)、クルーズのゆたか倶楽部(株)、(株)P T S
海外船社等：(株)クルーズバケーション、(株)ミキ・ツーリスト、
スタークルーズ日本オフィス、(株)オーバーシーズトラベル、



北海道太平洋側 4 港湾連携クルーズ誘致連絡会は連携・結成後初めて「首都圏セミナー」を開催しました。首都圏セミナーは、日本海事新聞社様のご厚意により会場（会議室）をご提供いただき、邦船社・チャーターの（6 社）と海外船社 G S A（4 社）に分けて実施しました。

セミナーは、はじめに室蘭市の担当が代表して「北海道の太平洋クルーズを楽しんでもらうために！」と題した資料を基に、北海道太平洋側 4 港湾の共同プレゼンテーションを行いました。「春・夏 癒しツアー」や「秋の湖紅葉と北海道食体験ツアー」など、季節に応じたテーマによる地域の魅力を盛り込んだモデルツアー等を紹介・提案することができました。

その後、4 港湾の担当が順にそれぞれの港湾施設やイチオシの背後圏の地域観光情報を紹介するとともに「連携エリアに多くのクルーズ客船が寄港するためには何が必要か」など意見交換を行いました。

< 函館プレゼン概要 >

- ・ 四季の見どころを写真で P R
- ・ 見どころ紹介「縄文文化交流センター」「函館子ども歌舞伎」
- ・ ツアーの紹介「湯の川温泉とマグロツアー」「琴の演奏会」
- ・ グルメの紹介「函館の洋食」「イカの刺身」

< 室蘭プレゼン概要 >

- ・ 観光圏(登別・洞爺湖)紹介
- ・ 体験メニュー紹介「ボルタ工房作成体験」「手業の体験(ジンギスカン鍋の作成等)」
- ・ ツアーの紹介「白老町ポロトコタンツアー(アイヌ文化)」「伊達市日本刀作成見学ツアー」「夜景クルーズ」「札幌圏のツアー」

< 苫小牧プレゼン概要 >

- ・ オプショナルツアーに参加しないお客様向けに「浜のお母さん料理教室(地元名物ホッキ貝を使用)」

< 釧路プレゼン概要 >

- ・ 釧路港概要等紹介(受入支援内容等)
- ・ ツアーの紹介「釧路湿原癒しツアー」「ウチダザリガニ防除と湿原散策」「雄別炭鉱跡地散策とタンチョウを学ぶ」「釧路・阿寒・摩周を巡る旅」
- ・ パンフレット(K U S H I R O)より、グルメと自然や体験などの観光素材を紹介
- ・ 釧路の夕日 10 倍感動ガイドより、世界三大夕日として紹介

【邦船社等からの意見(抜粋)】

- ・ ニュース、新聞、雑誌等で取り上げられている話題性のあるものをツアーに取り込むことが多い。(例えば、世界遺産「平泉」)
- ・ 鹿児島など九州が中心になりやすい。高知や小笠原なども多いが、「北海道」はこれから期待する。
- ・ 新しい試み(場所や企画)を常に見ている。昔に比べ今は全国的にクルーズの受入に対して協力的になっている。
- ・ イベントは 1 年か 1 年半前に確定していると組みやすい。

【外国船社等からの意見（抜粋）】

- ・ファーストポートは可能か（入国審査等のスピーディーな対応と入国審査等の船内イベントなどの企画が重要）。
- ・北海道と首都圏では季節の違いがあるため、季節情報（○月）を明確にして欲しい。
- ・言語の問題はどうか（施設毎の通訳対応街中サイン表示など、地域で外国船を受け入れる準備ができているか）。
- ・ツアーで言うと船のキャパが2,000名級になるので、多くの人数（200名以上）がツアーに参加できる企画が欲しい。

終わりに（釧路市担当からの感想）

- ・今回の提案で新たな課題が明確になった。（多言語サイン表示等）
- ・今後の受入体制充実に努めたい。民間の力を取り入れて行政主体から官民一体の誘致・受入支援の整備を目指す。
- ・活動は今後も継続していきたい。

以 上